

「読むこと」の授業の「まとめの学習」では どんなことに気を付けて指導すればいいの？

もやっと

こんな悩みはありませんか？



学習（単元）の最後に、教科書の「まとめよう（小学校）」「考えをもつ（中学校）」に沿って、自分の考えをまとめる時間を設定しています。

学習（単元）の最後に「まとめ」を書くことが、指導事項の「考えの形成」の力を身に付けることだと思っているけれど、本当に力が付いているのかな…。
どの子も、似たような文章になってしまうのはどうしてだろう。



学習の初めに書いた感想と学習の終わりに書く感想やまとめを比べると、変容が見られないことが多いなあ。
何が足りないのかな？

すっきり

このような解決方法があります！

「どんなことについてどのようにまとめるのか」という「学習課題」や「目的」を確かめると、「書きまとめ方」を示すことが大切です。

学習（単元）のまとめで、感想を書いたり考えをまとめたりする際には、「どんなことについて考えるのか」「どのようにまとめるのか」が分かるよう、「例」を示すと効果的に指導できます。

「読むこと」の「考えの形成」は こう指導する！



文章を読んで理解したこと、自分が知っていることや体験などを結び付けて自分の考えをまとめ、話したり書いたりするよう、指導します。

→P.8 授業アイデア例②へ 中学校も適用可能

例 「考えの形成」の学習に向けて、こんな学習が効果的です！

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時
内容と構造の把握		精査・解釈			考えの形成	

第2時～第6時の指導において

- ① 読む目的を意識することを促しましょう。
- ② 本時の学習で理解したことの中に、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付くことはないかを考えながら読むことを指導しましょう。毎時間の蓄積が「考えを形成」する学習につながります。

すっきり の指導がよい理由

令和5年度全国学力・学習状況調査で課題が見られた設問

小学校	2四	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	正答率	全国 56.2%	県 53.3%	自校 %
			(■解説資料 P. 28～P.30 ■報告書 P. 44～P.53)			
中学校	2四	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。	正答率	全国 67.5%	県 71.3%	自校 %
			(■解説資料 P. 22～P.24 ■報告書 P. 38～P.46)			

「考えの形成」は、文章を読んで理解したことや分かったことを指すのではなく、**文章を読んで理解したことに基づいて、さらに自分の考えを深めることを求めているから**です。

例えば、第5学年の「想像力のスイッチを入れよう」の学習では、「文章を読んで共感したことや疑問に思ったことを基に、その中から自分の知っていることや経験と結び付くことを考え、これから自分がやりたいことをまとめる」のように示しましょう。その後、机間指導を行うなど、個別に声掛けをするとよいです。